

Cap. 2 D オープンD E

やっぱり見に来てよかった

G A D A

^D人影を見ることない

^{Fm}秋の終わりの^A浜辺で

^Dふよふよする^G風の中を

^A両手をポケットに^D

^{Bm}季節が^G変わった

^A誰もいな^{Bm}いところ

^{Bm}新しい^G貝殻

^A拾って^{Bm}胸にしよう

* ^D何もな^{Bm}いこと

^Gこんな^A綺麗だとはい

^D自然の色^{Bm}が^Gセイタクに^A広がる^D

^Gやっぱり^A見に来て^Dよかった **

1-マール+オープンD

足跡のたの浜辺に

足跡を^{ついで}ゆく

いったいなぜこんなにも

綺麗になるのだろう

一つだけ見つけた

誰かが作った

小さな砂の城

置き去りにされて

それにしても

風と波の力

全部入れ替えたような砂の色

* ~ **

Capo. 5 C
Capo 0 オープン Dm

F

豪華遊びしているわけではなく

(3) (1) (F) (10)
C An Dm Dm G G

オマケ → (3)

豪華遊びしているわけではなく

わすかかな小遣いを充てて

決められた時間を使って

今日もさながらのペース

(1) (5)
An Dm
この趣味 仕事にしていたら

(5) (10) (E) (11)
Dm Gm Em E7
こしなに楽しくできたのかな

(1) (5)
An Dm
地味に働けてきたおかげで

(5) (10) (3)
F G C
できることに感謝している

(1) (5)
An Dm
周りも気にせず

(10) (11) (12)
Gm Em F7
ほんとに知られていて

(1) (5)
An Dm F7 F#7
自由に気持ちは

(10) (11)
G C
ムルムカがあるわけじゃない

1-7ル + オープン Dm

ミスが許されないものに比べると

おおらかな気持ちで大胆に

納得できることだけポリシーに

あとはほんとに成り行き任せ

この趣味 仕事にしていたら

こしなに楽しくできたのかな

地味に続けてきたおかげで

成果が増え満足している

先のこと気にせず

ほんとに風任せ

自由に気持ちは

期限があるわけじゃない

Capo. 4 G

56

ひたまりの中

G C D G G C D G

E_m D
ひたまりの中はA_m C D₇
長い影が伸びてE_m D
小春日和の道A_m D₇ E_m
帰り花を見つけたG D₇
咲くはすのびの季節にA_m G
わすか三輪けりG A_m D₇ G
儂いほどの美しい姿に出逢って

ひたまりのいよこも

晴折よく冷たい風

それを忘れさせるように

暖かたよもりに

咲くはすのびの季節に

ほろふっほみ見上げる

こんな僕にも春がいつか来るまで

かくあるべし

0 7 5 7
D A G A

5 E_n 7 A 7 F#_n 0 B_n
「どうしてあいつはいつもこれができるのなの」

6 G 7 A 6 G 7 A
耳にする今日も口には「かくあるべし」

5 E_n 7 A 7 F#_n 0 B_n
自分たちの考えにそぐわない人を避けて

6 G 7 A 6 G 7 A 0 4 B_n
弱みを見つけて優位に立ちたい気持ちなのかな

0 B_n 7 F#_n
仕事だけでなく教育でも

5 E_n 7 F#_n
自分たちの理想押し付けている

0 B_n 7 F#_n
仕立て上げる姿に一つの姿に

5 E_n 7 F#_n 0 B_n 4 5
変えてゆくことが本当にいいのかな

0 D 7 A
いくつになってもいつでもどこでも

6 G 7 A
言われつづけている今日も「かくあるべし」

0 D 7 A
それを受けるための自分の性格

6 G 7 A 0 B_n
損してる気もするけど、それ以外のリストレもない

「自分のルールだけで偉くはなれない」となると

それとなく今日言われている「かくあるべし」

他人の面倒見ることは難しいもの

確かに大切なわけだけど思うようにいかない

仕事だけでなく生活でも

いろいろな気を遣って抑えている

あるかまに思うまに

やってみようか 本当に大丈夫かしら

いくつになっても いつでもどこでも

言われつづけている 今日も「かくあるべし」

かたは、言う方の親れを思うと

言われている方が気楽でいられる気がする

素直にいえなくて

* ただ素直に「ありがとう」とだけ
 いうことでよかったはずなのに なせか
 ただ照れくさかただけで いえない **

向気なく見える親切に
 お礼いうほどのことではないと
 なせか勝手に決めつけて
 間違っていたことに気付く

「お礼はなくていい」
 というのを決めるのは相手
 こちらが勝手に
 決めるのはいいないこと

* ただ素直に「ごめんね」とだけ
 いうことでよかったはずなのに なせか
 ただ照れくさかただけで いえない **

ふとかけてしまう 迷惑に
 お詫びいうほどのことではないと
 なせか勝手に決めつけて
 間違っていたことに気付く

「お詫びはなくていい」
 というのを決めるのは相手
 こちらが勝手に
 決めるのはいいないこと

(**~**)

(*~**)

私のたからもの

私の大切な小さなたからもの

ロールケース入りの50色の鉛筆

同じ赤でもいろいろな赤がある

明るく柔い赤、暗くて怖い赤、

いつも旅先でバックにしまってた

その時の空気で 見える景色も違う

同じ緑でもいろいろな緑がある

一つのものでなくたくさんあるのがいい

空を見上げて 海を見渡して

物思いにふけることも幸せ

同じ青でもいろいろな青がある

すめ渡る青と 深く重たい青

たくさんある中で一つしかない色

だいたいのたから物で使っていない色

いろいろな色のせる画用紙と同じで

清らかな白色、かたかたの白い色

大切なもの